



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週 報

2012～2013年度 RI会長 田中 作次
RIテーマ Peace Through Service 奉仕を通じて平和を

クラブテーマ「チ・カ・ラを出そう」会長 太田政人

副会長 山本良一 幹事 石井司人

第1100回 例会 2011.07.27(金)晴

司会:石井和郎君 指揮:久保栄子君
ロータリーソング「それでこそロータリー」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央ビル2F
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ 検索

例会場 ブケ東海三島
TEL.055-984-0120
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

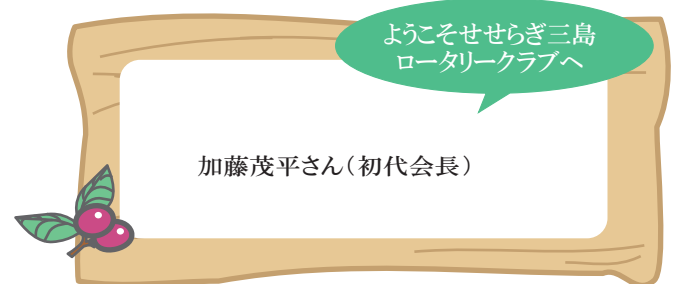
会長 太田政人君



戻り梅雨の涼しさから一転真夏の暑さが襲ってきました、皆様体調管理には十分お気をつけ下さい。

さて、本日の例会は1100回目の記念すべき例会ですが特別なプログラムは組んでおりませんでした、中村さんのお計らいで特別なゲストをお呼びしております、我がクラブは1989年に三島南ロータリークラブとして発足しました、その時の初代会長であり我がクラブの礎を築いていただきました加藤茂平さんです。ようこそお越しくださいました。クラブ創立時のメンバー所謂チャーターメンバーは30名でしたが、現時点で在籍していますのは、澤田稔さん、中村徹さんと私の3名となっていました、少々寂しい感じがいたします。メンバーも随分変わってしまいました、加藤さんも顔の知らないメンバーも多いと思いますが、当時と違った今のせせらぎ三島クラブの例会の雰囲気を楽しんで頂けたら幸いです。

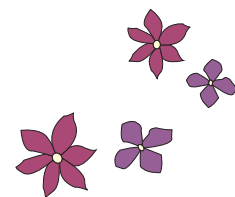
話は変わりますが、去る23日の「竹中敏子 チャリティコンサート」は大盛況でした、予定していましたチケットは完売となり急遽増刷し最終的には213枚のチケットが売れました、其のうちせせらぎ三島クラブは50枚のチケットを購入しました、御協力ありがとうございました。被災の状況、復興の願いを織り交ぜたトーク、ピアノ演奏による弾き語りは素晴らしいものでした。会場の皆様は感激の面持ちで聞き入っていました。竹中敏子さんのこれからの活躍を祈念しております。25日の静岡新聞朝刊にこの記事が載っていました、お読みください。最後になりましたが、このチャリティコンサートにいろいろ御尽力していただきました大房さんに感謝申し上げます。



出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	29/34	85, 29%	31/34	91, 18%
今回	31/35	88, 57%	会員総数	35名
欠席者	あなたが見えなくて残念でした。			

内田君、大房君、田中君、望月君



幹事報告

幹事 石井司人君

1. 本日は、1100回の例会です。初代会長の加藤さんをお迎えしております。
2. 例会変更
伊豆中央RC 8月7日(火) 例会日変更
三島RC 8月15日(水) 特別休会
三島西RC 8月16日(木) 特別休会

「おこがましい」→身の程をわきまえない。差し出がましい。生意気。いかにもばかばかしい。馬鹿げてる。……。1100回の記念すべき例会に卓話の機会をいただき大変感謝申し上げます。今日は初代会長の加藤茂平パスト会長にもお越しいただき、初対面ではございますが何卒、宜しくお願い致します。

卓話の始まる5分前に中村パスト会長から「1989年～1990年三島南ロータリークラブ事業計画書」を拝見させていただき、創始時の思いを感じることができました。国際ロータリーの基本指針と初代加藤会長が掲げた三島南ロータリーのテーマがしっかりとリンクされていることにも驚きを感じました。大変『おこがましい』ことですが、やはり時代は目まぐるしく変化していますが、常に創始の精神を忘れることなく継続していくことが、これからの組織等々には一番重要なことではないかと再認識する機会となりました。

2006年11月6日 伊吹文明文部科学大臣宛に一通の手紙が届きました。

以下抜粋→文部科学大臣 伊吹文明様

僕は、いじめが原因で11月11日土曜日に自殺することを証明します。この手紙をいじめた人達、学校の先生、校長、教育委員、いじめた人達の保護者、僕の両親に自殺をしたら見せてください。あとマスコミの人々にも全部見せてくださいお願いします。今回手紙を書いた理由は、生きていくのがつらいからです。いじめた人達は、何もバツをうけませんでした。先生に言ったのにも先生は、なにもしませんでした。両親にも言ったのですが「がまんしろ」しか言いません。なんとか親が学校の校長先生や教育委員のかたに連絡してもらったのですがなにもかわりません。なのに親や先生は、「お前の性格がわるい。や「がまんしろ」しか言わない。」ので11月8日の水曜日までになにもかわらなかったら「いじめが原因の自殺証明書」どうりに自殺します。場所は、学校でします。みんな信用できないので文部科学大臣の伊吹文明大臣に書きました。僕の名前は、11月11日土曜日に自殺のニュースでみんなに知らせてください。お願いします。お願いします。

クラスみんなへ

クラスみんなへ なぜ僕をいじめるのですか。「キモイ」からですか「クサイ」からですか。なぜ僕をさけるのですか。なぜ僕のズボンをおろすのですか。ホモなのですか。なぜかげぐちを言うのですか。僕には、わかりません。僕は、みんながいじめたので自殺をします。自殺したあとにはんせいしたとかわるいことをしたなどうそを言うでしょう。ぜったい反省していないでしょなぜなら反省してたらクラスみんな僕をいじめないからです。ぜったいなん年かたったらわすれるでしょう。なので僕が自殺しました。そのあとでみんな責任をとって自殺してください。11月12日の日曜日に学校の教室で自殺をしてください。反省してい

るのならできるはずですよ。なぜみんなが責任をとらないといけないかは、わかると思います。テレビなどでは、いじめた人は、先生や校長先生や教育委員会がみんなグルになってしょうこをいんめつしたりしていじめはないとウソをついたからです。だれも責任をとったいじめっ子は、いません。大人たちのせいです。なのでこんどは、大人の人がまもってくれると思っているのでしょうがまちがいです。ぜったいみんな自殺して責任をとるようにいろんな人に遺書を書きました。ぜったいいじめは、ゆるしません。僕からは、自殺をしない人は、ひきょうものだとしてウラミます。そしてうらみ殺します。または、全員の名前をこうしょうしてもらいます。生きじごくです。ずっといじめをした人だともわりからゆわれてすごすことになります。最後に責任をとってください。

集合場所 学校の教室

日時 11月12日日曜日僕が自殺した次の日

持ち物 ロープ(くびをつるため)

または、 ナイフ(自分でさして死ぬため)

です。まもらない人は、あとでのろい殺します。さようなら僕をころしたクラスのみんな
教育委員会へ

なぜ僕が自殺をしたのかわかりますか。ぜったいわからないとウソをつくでしょう。まず最初に言いたいことがあります。今回の自殺は、「いじめが原因で自殺した。自殺といじめは因果関係があり教育委員は、いじめをしつていながらなにもしなかった。」～中略

僕は、死んだらうらみます。教育委員会は、どこもニュースでやっているとおなじです。ウソについて自分のためだけにやっています。きゅうりようどろぼうで自己中心でゆるせません。なので僕は自殺をします。

上記のような手紙が文部科学大臣宛に届き、伊吹文部科学大臣は2006年11月17日 日本中の教育関係者へ手紙を出しました。

未来ある君たちへ

弱いたちばの友だちや同級生をいじめるのは、はずかしいこと。

仲間といっしょに友だちをいじめるのは、ひきょうなこと。

君たちもいじめられるたちばになることもあるんだよ。後になって、なぜあんなはずかしいことをしたのだろう、ばかだったなと思うより、今、やっているいじめをすぐにやめよう。

いじめられて苦しんでいる君は、けっして一人ぼっちじゃないんだよ。お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、きょうだい、学校の先生、学校や近所の友達、だれにでもいいから、はずかしがらず、一人でくるしまず、いじめられていることを話すゆうきをもとう。話せば楽になるからね。きっとみんなが助けてくれる。

平成18年11月17日 文部科学大臣 伊吹 文明

今年は2012年・・。あれから何年経ったのでしょうか？
現状はどうでしょう？

スマイルボックス

加藤茂平君：久し振りに例会に出席させていただき有難う存じます。益々会の発展をお祈りして居ります。クラブ会員の皆様の御健康を切にお祈りして居ります。

片野誠一君：過日、父の葬儀で皆様の御会葬をいただき誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

中村 徹君：初代会長加藤さんの時の計画書を持参しました。皆さんで回覧して下さい。

服部光弥君：1100回の例会で卓話の機会をいただきありがとうございます。宜しく願いいたします。

山口辰哉君：今日は土用、それなのにAテーブルミーティングは焼き鳥です。Aテーブル以外の方も奮ってご参加を。なお、明日は土曜日です。

渡邊照芳君：途中で早退します。服部君の卓話が全部聞けず残念です。

澤田 稔君：1100回例会おめでとうございます。立派なものです。2100回に向けて頑張りましょう。私は車椅子で参加します。

杉山 隆君：悪いニュースしか無い中、せめてスポーツでは国民ひとつになって良い夢を見せて下さい。

矢岸貞夫君：2日間続けて深夜までサッカー観戦しました。寝不足です。男女とも勝って良かったです。

..... PHOTO GALLERY



RI会長のメッセージ

朋友ロータリアンの皆さん、

私の世代は、戦後に日本で育った最初の世代です。平和を重視するのは当然のことだと思います。自らの国の軍国主義の結末を経験した私たちの世代は、日本が平和を選ぶ大きな決断をした結果、目覚ましい経済発展を遂げていくのも目にしました。

この決断があつてこそ、日本は成長と繁栄を遂げることができたと思います。そのおかげで、子どもたちの世代が安全な環境で成長し、教育を受け、暮らしを向上させることができたのです。また、この決断によって他の国や文化に対する日本人の見方は根本的に変わりました。日本人は心を開き、より寛容になり、もっと深く世界を理解するようになりました。

さらに、平和を選択したことによって、私たちは前向きな目標に力を注ぐことができるようになりました。

個人のニーズより社会のニーズを重視するのは、日本の文化と切り離せない、伝統的な価値観です。2011年3月に起こった大地震と災害後、数週間、数か月間、私たちが生き延び、復興に努力できたのも、この価値感があつたからです。

これは、日本以外の国々にとっても、良い教訓であると思っております。他者のニーズが、自分自身のニーズよりも大切だと思い、社会全体のための共通の目標に向かって力を合わせることができるようになれば、すべてが変わるのです。世界との関わり方が変わります。何を優先するのかが変わります。そして、平和の概念をどのように理解するのかが変わります。

2012-13年度には、「平和」が私たちの焦点であり、目標です。皆さんには、「奉仕を通じて平和を」もたすため、積極的に活動していただくようお願いいたします。ロータリーの中核にあるのは、奉仕の力に対する信念です。奉仕を優先することで、自分よりも他者のニーズが優先され、人々が抱える困難に対し、深い同情の心が生まれます。自分の時間やリソースを惜しみなく与え、新しい考え方に対してもさらに心を開くことができます。他人を変えようとするのではなく、すべての人やものから学ぶことがあると認識することです。

奉仕を通じて、私たちは、互いの違いに対して寛容になり、周囲の人に対して感謝の気持ちを抱くようになるでしょう。そして、もっと相手を理解し、あらゆる人の中に善を見いだすことができるでしょう。こうした理解から生まれる他者への尊重の気持ちが、平和な暮らしをもたらすのだと思います。

今年度、「奉仕を通じて平和を」の精神をもって、ロータリーの目標である平和な世界に向けて邁進していただくよう、よろしくお願い申し上げます。

国際ロータリー会長
田中作次